Fujidensha

車載用 DVD プレーヤ

品番 **EU-T25**

取扱説明書

∞ このたびは弊社製品をお買い上げいただき、 ありがとうございます。
∞ ご使用の前に、 この取扱説明書をよくお読みのうえ、 正しくお使いください。
∞ 保証書は必ず [販売店名・購入日] の記入を確かめてからお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、 財産への損害を未然に防止するため、 必ずお守りいただくことを、 次のように説明しています。

●表示内容を無視して、 誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、 次の表示で区分して説明しています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分して説明しています。

●下記は絵表示の一例です。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、 してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、 必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コードやプラグを傷つけない

無理な折り曲げ、 ねじり、 加熱、 加工、 重量物の下敷きなどは電源コードの皮膜の破損、芯線のむき出しの原因となり、 ショートや絶縁不良による火災や感電につながります。

●プラグを抜くときは根本を持ち、 まっすぐ抜いてください。

●修理は販売店にご相談ください。

異常が発生したときは電源を切り、 電源プラグを抜く

そのまま使うと、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災や感電の原因になります。

下記の症状の場合は絶対に正しく処置してください。

○煙が出る ○異常に熱い ○異常なにおいや音がする ○内部に水や異物が混入した。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があります。 分解や改造は、火災･感電･故障の原因になります。

●修理 ・ 調整は販売店にご依頼ください。

⚠警告

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

AC100V(50/60Hz) の電源電圧で使用する

日本国内専用です。

指定以外の電源電圧で使用すると火災・感電・故障の原因になります。

タコ足配線などの場合も、 加電流で発熱し、 火災・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む

不完全な差し込みは発熱による火災・感電の原因になります。

●傷んだプラグは使用しないでください。

異常を感じたら

雷が鳴り出したら電源プラグに触れない

落雷すると誘電により感電の原因になります。

使用について

運転中は使用しない

事故の原因になりますので運転者は絶対に走行中に操作しないでください。

画面を見ながら運転しないでください。

航空機内で使用しない

航空機内で使用する場合は、 航空会社および機長の指示に従ってください。

本機が航空機の装置に影響を与える恐れがあります。

水をかけたり濡らしたりしない

内部に水が入ると、 ショートや絶縁不良で発熱し、 火災・感電・故障の原因になります。

●内部に水が入った場合は、 使用を停止し、 販売店にご相談ください。

車載について

車内に放置しない

本機の保管温度は摂氏 70 度まで対応していますが、 長時間の車内放置は故障の原因になりますので、 絶対に無人の車内に放置しないでください。

⚠注意

設置と接続について

不安定な場所や振動する場所に置かない

本機が落下し、 ケガや故障の原因になります。

●本機の上にものを置いたり乗ったりしないでください。

風通しの悪いところや狭い場所に置かない

内部に熱がこもり、 高温になると機器が変形したり、 発熱· 火災 ・ 感電の原因になります。

●設置の際は壁から 10cm 以上離してください。

直射日光のあたる場所や温度が高い場所に置かない

機器表面の部品が劣化 ・ 変形し、 内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災 ・ 感電の原因になります。

●ストーブの近くなどもご注意ください。

油煙や湯気、 湿気、 ほこりが多い場所に置かない

本機内部や端子部に水やほこりが入り、 内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災 ・ 感電の原因になります。

長期間使用しないときは、 電源プラグを抜く

ほこりの堆積によりショートし、 火災 ・ 感電 ・ 故障の原因になります。

●プラグは時々点検してください。

移動する場合は電源を切り、 コード類を全て外す

接続した状態で移動するとコードが傷つき、 火災 ・ 感電の原因になります。 また、 機器が落下し、 ケガの原因になります。

本機の上にものを置いたり、 乗ったりしない

転倒や落下などによりケガの原因になります、 また、 重量で筐体が変形し、 放熱効果の悪化や内部回路に悪影響が生じることでショートや絶縁不良で発熱し、 火災 ・ 感電の原因になります。

●特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠警告

コイン型電池について

コイン型電池は、 幼児の手の届く場所に置かない

コイン型電池をお子様やペットが飲み込んだりすると、 中毒の原因になります。

●お子様やペットが飲み込んだ場合は医師に相談してください。

電池から漏れた液には触れない

液漏れが発生し、 液が手や衣服に付着したときは、 水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、 失明の恐れがあります。 目をこすらずに、 すぐにキレイな水で洗い流してください。 その後、 迅速に医師にご相談ください。

⚠注意

リモコン電池について

電池は極性表示（ ＋ ／ － ）を確かめ正しく入れる

極性を間違えると、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

充電式電池や指定以外の電池は使用しない

指定外の電池は、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

電池を加熱・分解したり、 火や水の中へ入れない

液漏れ ・ 発熱 ・ 発火 ・ 破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

電池の電極部（ ＋ ／ － ）に金属物を接触させない

電池がショートし、 液漏れ・発熱・発火・破裂などを引き起こし、 ケガの原因になります。

●電池を保管 ・ 携帯するときは、 ポリ袋などに入れてください。

●廃棄する場合は電極部にビニールテープなどを貼ってください。

■ポップノイズについて

トラックの切れ目やオーディオ機器の組み合わせにより、 システムの電源を起動したときや操作を行った場合にスピーカからポップノイズ（ ボッ音、 プチ音 ）が発生する場合があります。
本機の電源を ON にした後で、 外部機器の電源を ON にした場合などは特にノイズが入りやすくなります。 モードボタンでサラウンドモードを切り換える時もノイズが発生しやすくなります。
いずれもポップノイズによる音響機器の動作や音質には支障ありません。

⚠警告

ディスクの使用について

レーザに注意

本機で使われているレーザ光が目にあたると危険ですので、 レンズを直接真上から見ないでください。 視力障害の原因になります。

クラス 1 レーザ製品について
本機は、 レーザシステムと CLASS 1 LASER PRODUCT を内蔵しています。 弱いレーザ光のため、 人体に大きな影響はありませんが、 レーザ光線による視力低下を防ぐために、 絶対に本機を分解しないでください。

⚠注意

ディスクの挿入口に手を入れない。 回転中のディスクに触れない

ディスクの回転が完全に停止していない状態でディスクに触れるとケガや故障の原因になります。 特にお子様にご注意ください。

ディスクホルダ (トレイ) は必ず閉じておく

本機には精密レンズが内蔵されています。

この部分にほこりが付かないよう、 ディスクホルダ (トレイ) は必ず閉じてください。

●レンズに手を触れないでください。

●金属などの異物を入れないでください。

結露 (露つき) 現象について

結露 (露つき) とは

冬季など、 暖房のきいた部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。

このような現象を結露 (露つき) と申します。

結露（露つき）が発生する状況

・ 暖房を始めた直後の部屋に移動させたとき

・ 湿度の高い場所に持ち込んだとき

・ 冷たい場所から、 急に暖かい場所に持ち込んだとき

・ エアコンのそばなど、 冷風が直接当たる場所で使用するとき

結露 (露つき) が生じた場合の対策

・ 正常なディスクの読み取りができず、 プレーヤが正しく動作しないことがあります。

・ 電源を入れ、 20 ～ 30 分待ってからご使用ください。

各部のなまえ［本体上面］

操作ボタン部

MONITOR1/ ボタンを押すたびにモニター 1 の「DVD」と「TV」を切り替えます。

MONITOR2/ ボタンを押すたびにモニター 2 の「DVD」と「TV」を切り替えます。

PREV/DVD(SD/USB) 再生時にボタンを押すとスキップで戻ります。(※)

NEXT/ ボタンを押すと DVD 再生時にスキップで進みます。(※)

TV/DVD MODE/ ボタンを押すたびに操作モードの「DVD」と「TV」を切り替えます。

SETUP/ 操作モード「DVD」では機能設定画面を表示します。
操作モード「TV」では受信チャンネルの地域設定画面を表示します。

STOP/DVD(SD/USB) 再生時にボタンを押すと再生を停止します。(※)

PLAY/PAUSE/DVD(SD/USB) 再生時にボタンを押すと一時停止します。(※)

(※) 操作モード「DVD」のみ機能します。

カーソルボタン

決定ボタン【OK】

OPEN

ディスクトレイ

トレイ開ボタン【OPEN】

各部のなまえ [本体側面 / 前面 / 背面]

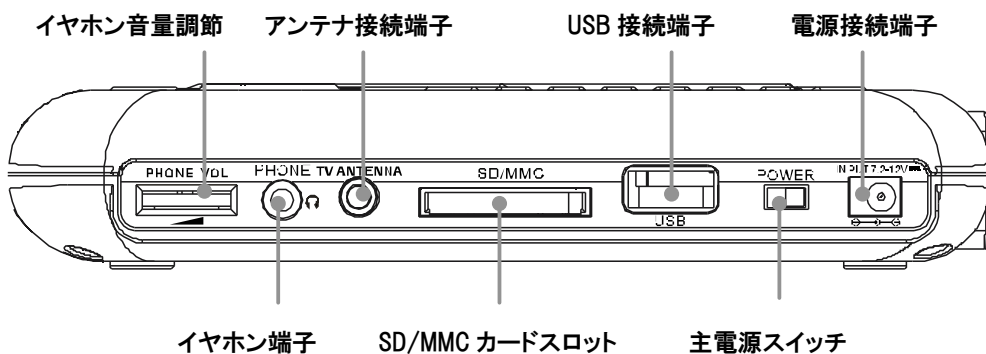
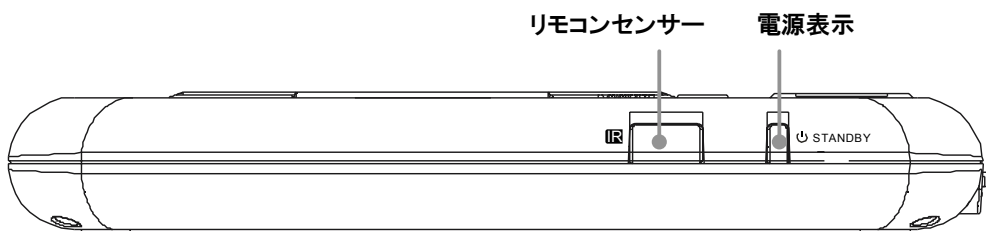
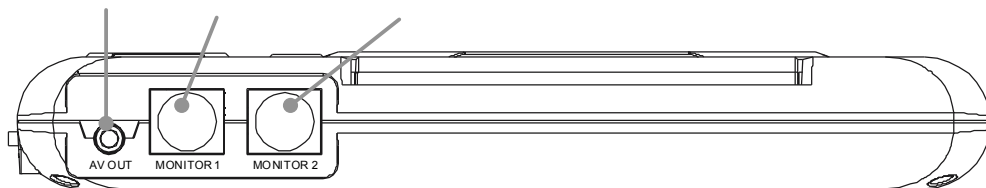
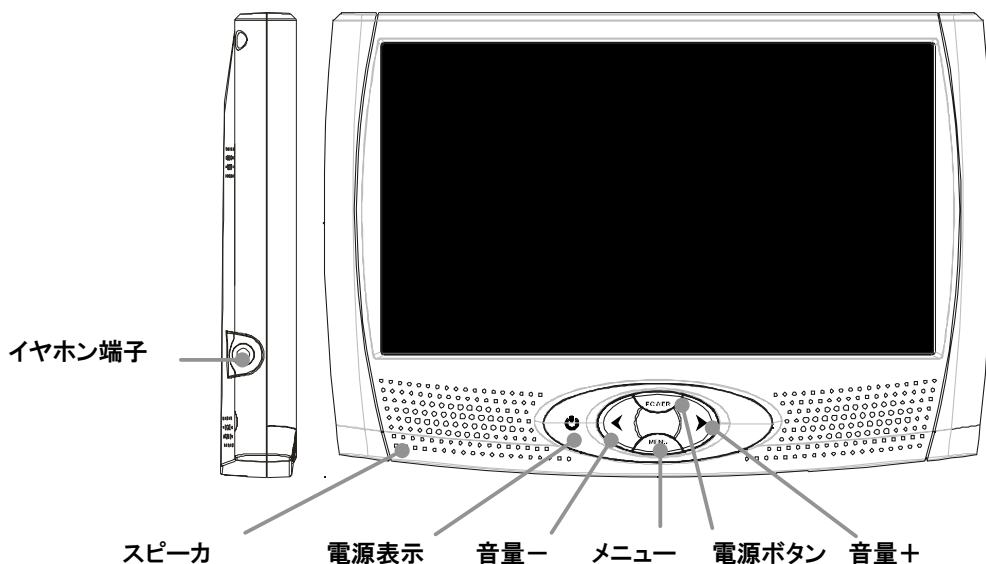
■本体側面

■本体前面

■本体背面

各部のなまえ [モニタ]

イヤホン端子

スピーカ　電源表示　音量－　メニュー　電源ボタン　音量＋

■メニューボタンについて

メニューボタンを押すことでカラーやコントラストなどの画質を調整することができます。
ボタンを押すたびに項目が切り替わります。
調整はモニターの【<】および【>】ボタンで行います。

設定項目	**設定内容**
コントラスト[CONTRAST]	一番明るい部分と暗い部分の対比度を設定
ブライトネス[BRIGHTNESS]	画面の明るさを調整
カラー[COLOR]	画面の色合いを調整
色調[HUE]	映像の赤色(－方向)と緑色(＋方向)のバランスを調整
シャープネス[SHARPNESS]	映像の鮮明度を調整
画面サイズ[16:9/4:3]	16:9 と 4:3 の画面サイズを切り替え
音量[VOLUME]	音量を調整

■電源ボタンについて

モニタの電源ボタンは本体の電源スイッチが「ON」の状態で機能します。
電源表示が「赤色」の時はスタンバイ状態、「緑色」の時は ON 状態です。

使用しないモニタはスタンバイ状態にしてください。 本体の電源を ON/OFF してもスタンバイ状態は保持されます。 スタンバイの解除はモニタの電源ボタンでのみ可能です。

各部のなまえ [リモコン]

モニター2切替ボタン
(P19)
モニター1切替ボタン
(P19)
数字ボタン
(P30_32)
スキップ戻ボタン
(P29_36)
早戻しボタン
(P29)
サーチボタン
(P21_22_32)
A-Bリピートボタン
(P29)
PROG/番組情報ボタン
(P22_30_37)
ズーム/画面ボタン
(P26_30)
画面調整ボタン
(P19)
アングル/番組表ボタン
(P22_30)
字幕切替ボタン
(P22_31)
タイトルボタン
(P31)
リモコン機能切替ボタン
(P12)
消音ボタン
(P19)
CARD/USBボタン
(P33)
電源ボタン
(P18)
表示/CH一覧ボタン
(P22_32)
音声切替ボタン
(P22_31)
再生/一時停止ボタン
(P28_29_36_37)
停止ボタン
(P28_36)
スロー再生ボタン
(P29)
早送りボタン
(P29)
スキップ送りボタン
(P29_36)
リピート再生ボタン
(P29_34_37)
機能設定/地域ボタン
(P38_22)
選局+/▲ボタン
(P21)
決定ボタン
メニュー/TV設定ボタン
(P22_23_31)
選局−/▼ボタン
(P21)
音量+ボタン
(P19)
音量−ボタン
(P19)
モニター1
モニター2
CARD/USB
電源
表示/CH一覧
1
2
3
音声
4
5
6
再生/一時停止
7
8
9
スキップ戻
停止
0
10+
サーチ
早戻し
スロー再生
早送り
PROG/番組情報
A-B
スキップ送
リピート
ズーム/画面
画面調整
選局+
機能設定/地域
アングル/EPG
決定
字幕
タイトル
選局−
メニュー/TV設定
機能切替
消音
音量−
音量+

リモコンの切替　～この操作は重要です～

本機のリモコンは TV 操作と DVD 操作を兼用しています。 それぞれの機能を正しく操作するにはリモコンのモードを切り替える必要があります。
リモコンを切り替えないと本機を正しく操作できませんのでご注意ください。

■アイコン表示について

「TV モード」と「DVD モード」は**画面右上**にアイコンで表示されています。
初期状態では「DVD モード」に設定されています。

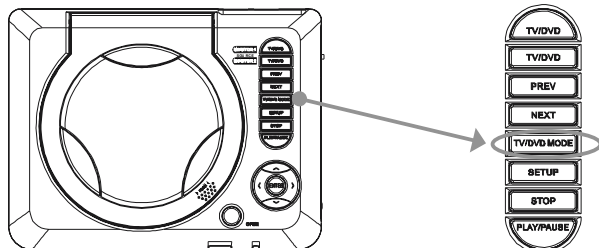
▲ DVD 操作モード

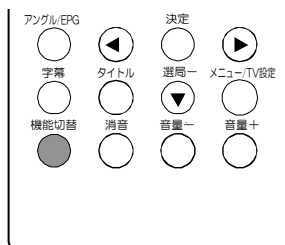
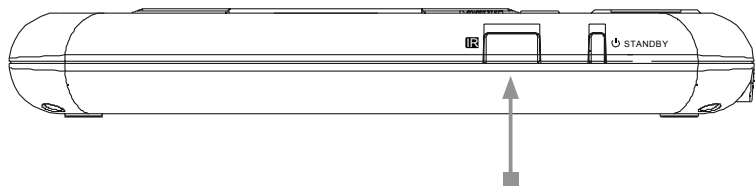
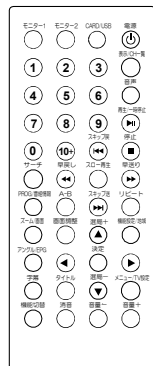
▲ TV 操作モード

ご注意

異なるアイコンが表示されている場合は操作できません。
アイコンをご確認ください。

■本体のボタンで切り替える

「TV/DVD MODE」ボタンを押す。
ボタンを押すたびに TV モードと DVD モードが切り替わります。

■リモコンのボタンで切り替える

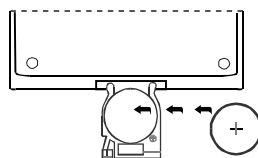
「機能切替」ボタンを押す。
ボタンを押すたびに TV モードと DVD モードが切り替わります。

リモコン操作

赤外線受光部にリモコンを向けて操作してください。
リモコンの操作可能範囲はセンサーから 7m 以内です。

リモコンの使用についてのご注意

●本書「電池に関するご注意」(P6) を必ずお読みください。
●付属の電池は動作確認用です。
●リモコンを落としたり、 強い衝撃を加えないでください。
●赤外線センサー受光部に強い光が当たるとリモコンが正しく作動しません。
●リモコンの電池が消耗すると正しく作動しません。
●本機のリモコンによって他機器が誤作動する場合は直ちにリモコンの使用を中止してください。
●リモコンにお茶や珈琲をこぼさないでください。
●リモコンの文字表記は改良等により変更になる場合があります。

■カード型リモコン用電池の交換方法

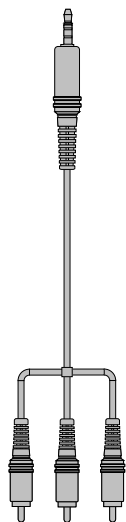
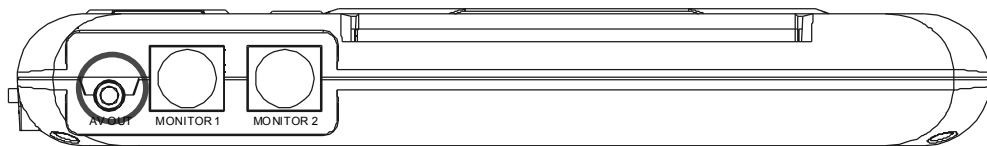
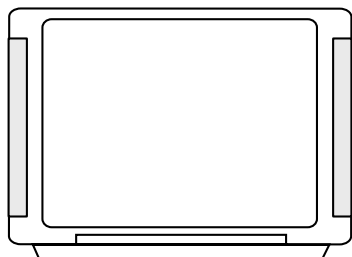
本機のリモコンでは CR2025 型電池 (3V、直径 20mm、 厚さ 2.5mm) を使用します。
ご購入時は電池はリモコンにセットされています。 台紙を抜いてご使用ください。

CR2025 電池の交換方法

① リモコンを裏返します。
② 電池ホルダを手前に抜きます。
③ 電池の ➕ 面を上にして電池を装着します。
④ 電池ホルダを元のように収めます。

テレビとの接続［映像 / 音声出力］

●本機で再生するDVDの音声と映像をテレビに出力することができます。
●接続には付属の4極ミニプラグ音声 / 映像ケーブルをご使用ください。
● 4極ミニプラグを本機の音声 / 映像出力端子［AV OUT］に接続してください。

ご注意

ワンセグTVの映像・音声は出力されません。

端子の色に合わせてテレビに接続します
黄色：映像入力端子に接続する
白色：音声入力端子（左）に接続する
赤色：音声入力端子（右）に接続する

イヤホンの接続

■本体側

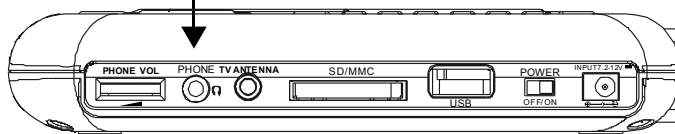
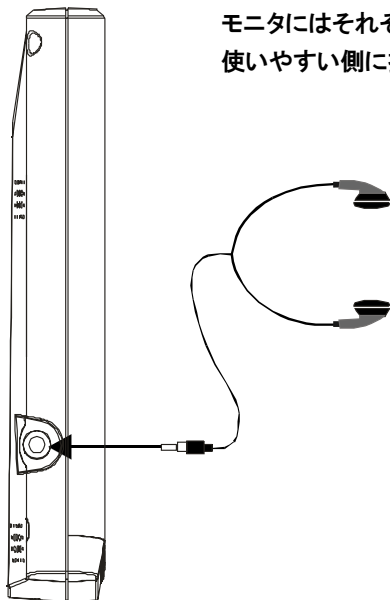
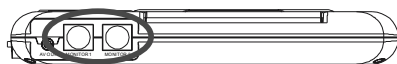
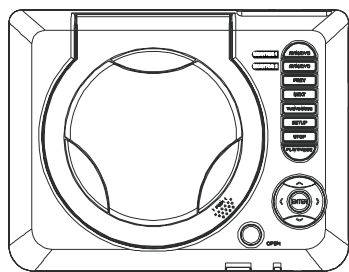
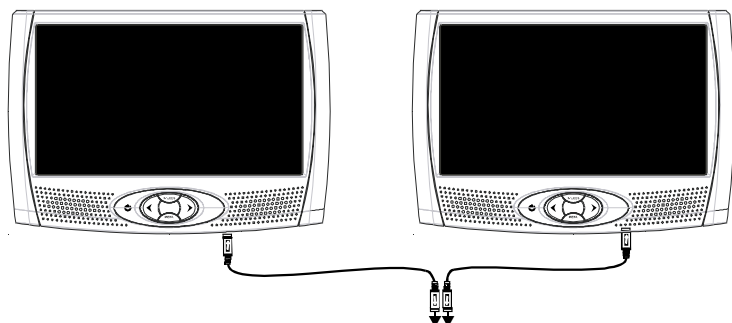
イヤホンを接続する場合は本機のイヤホン端子 ∩ に3.5mm ミニプラグを接続してください。

音量の調節について

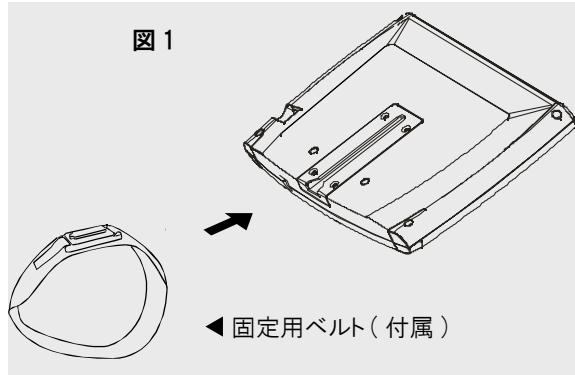
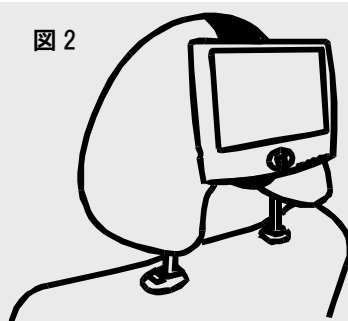
本体に接続したイヤホンの音量を調節する場合は本体側の「PHONE VOLUME」ダイヤルで調節してください。

ご注意

「PHONE VOLUME」ダイヤルは本体イヤホン専用です。

■モニタ側

モニタにはそれぞれ。2 つのイヤホン端子があります。使いやすい側に接続してください。

モニタの接続

▲モニタの DIN ケーブルを本体の背面の端子に正しく接続してください。

■モニタの車載

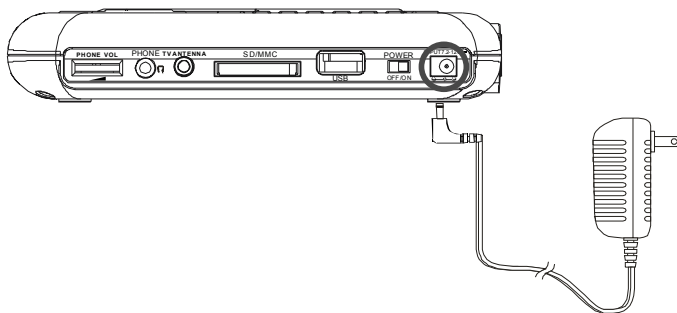
モニタをクルマに取り付ける場合は、付属のベルトをモニタ背面のバックルに装着 (図 1) して、シートのヘッドレストに固定 (図 2) してください。

ご注意

走行中の振動等で落下しないようしっかり固定してください。

電源アダプタの接続

■室内の電源で使用する場合

１ 付属の電源アダプタの出力プラグを本体の「DC IN 12V」電源入力端子に差し込む。

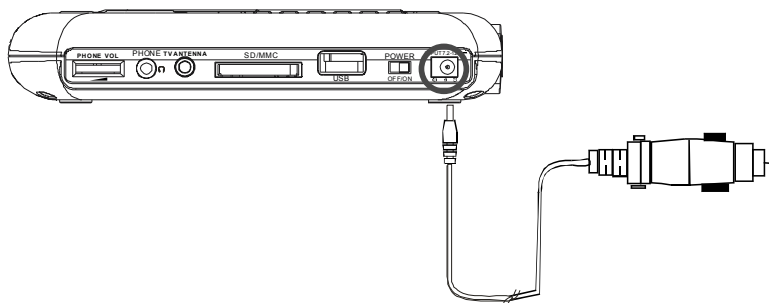
２ 電源アダプタの電源プラグを壁面のコンセントに差し込む。

ご注意

電源アダプタおよびクルマ用電源アダプタを「DC IN 12V」電源入力端子に接続する場合は、電源スイッチを「OFF」にしてから差し込んでください。

長時間使用しない場合は AC アダプタを取り外してください。

■クルマの電源で使用する場合

１ クルマ用電源アダプタの出力プラグを本体の「DC IN 12V」電源入力端子に差し込む。

２ シガープラグをクルマのシガーソケット (電圧 12V) に差し込む。

ご注意

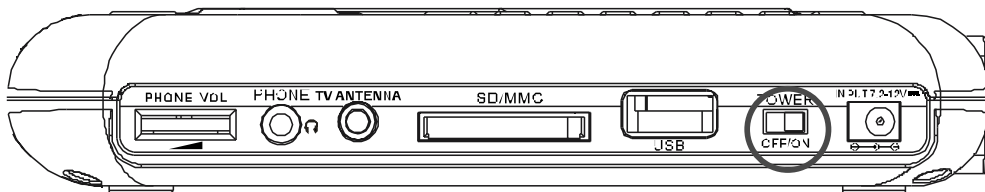
クルマ用電源アダプタは DC12V(マイナスアース) 専用です。大型トラックやバスなどの DC24V 車には対応していません。火災や事故の原因になりますので、絶対に接続しないでください。

使用後はクルマ用電源アダプタをシガーソケットから抜いてください。

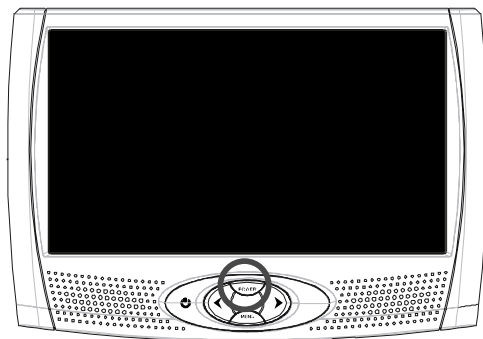
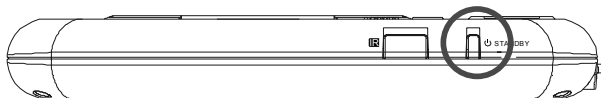
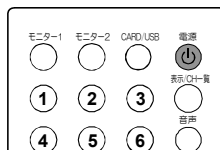
エンジンが停止している状態で長時間使用しないでください。自動車のバッテリを消耗し、エンジンを始動できなくなる可能性があります

電源について

■電源の ON

本体側面の電源スイッチ【POWER】を「ON」にすると本体前面の電源表示【STANDBY】が緑色に点灯し、 本機が使用可能になります。 同時にモニタの電源表示【⏻】も点灯します。

■スタンバイ表示について

本体の電源スイッチが「ON」の状態で、 リモコンの【電源】ボタンを押すと、 本体とモニタの電源表示 (STANDBY) が「赤色」に変化し、 本機 (本体とモニタ) がスタンバイ状態になります。

スタンバイを解除するには再度、 リモコンの【電源】ボタンを押します。

■モニタの POWER ボタンについて

本体の電源が「ON」の状態において、 モニタの【POWER】ボタンを押すと、 モニタをスタンバイ状態にすることが可能です。

使用しないモニタのみを OFF にする場合などに便利です。

■海外での使用について

付属の AC アダプタは 100V ～ 240V まで対応しています。

プラグアダプタ (市販品) を交換することで海外でご使用することができます。

ご注意

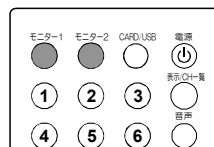
海外でワンセグテレビを視聴することはできません。 テレビチューナーは日本国内専用です。

地域によっては、 同じ国内でも電圧やプラグ形状が異なる場合があります。 事前にご確認ください 。

基本的な操作 [TV/DVD 共通]

■モニタの切替

TV モードと DVD モードを切り替えるには本体またはリモコンの【モニター】(MONITOR) ボタンを押します。
モニターボタンにはそれぞれ「1」と「2」がありますので、 切り替えるモニタに対応したボタンを押してください。
ボタンを押すたびに表示 (DVD ⇔ TV) が切り替わります。

ご注意

リモコン操作する場合はリモコンモード (P12) も同時に切り替えてください。

■音量の調節

音量の調節はリモコンまたはモニタの音量ボタンで操作します。

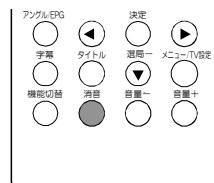
ご注意

リモコン操作する場合はリモコンモード (P12) も同時に切り替えてください。

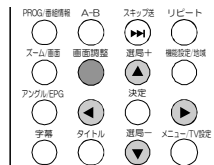
■消音

リモコンの【消音】ボタンを押すと、 再生音量を一時的に消します。
TV または DVD のどちらか一方を消音することが可能です。

ご注意

リモコンモード (P12) を切り替えて操作してください。

■画面調整

リモコンの【画質調整】ボタンを押すことでカラーやコントラストなどの画質を調整することができます。
モニターの【MENU】ボタンでも同様の操作が可能です。(P10 参照)

1 リモコンの【画面調整】ボタンを押す。
2 カーソル【▲または▼】ボタンを押し、 項目を選択する。
3 カーソル【◀ または ▶】ボタンを押し、 数値を調整する。

設定項目	設定内容
コントラスト [CONTRAST]	一番明るい部分と暗い部分の対比度を設定
ブライトネス [BRIGHTNESS]	画面の明るさを調整
カラー [COLOR]	画面の色合いを調整
色調 [HUE]	映像の赤色 (－方向) と緑色 (＋方向) のバランスを調整
シャープネス [SHARPNESS]	映像の鮮明度を調整
画面サイズ [16:9/4:3]	16:9 と 4:3 の画面サイズを切り替え
音量 [VOLUME]	音量を調整

ワンセグ放送について

■ワンセグ放送の視聴

本機は地上デジタルワンセグチューナーを内蔵しています。 外出先でも、 地上デジタルテレビ放送と同じ内容の番組を見ることができます。

■字幕サービス

ワンセグ放送では、 番組によって字幕情報が含まれているものがあります。 本機では、 字幕を表示しながら番組を見ることができます。

■電子番組表 (EPG) の表示

EPG とは「Electronic Program Guide」の略で電子番組表のことです。 本機の画面上に最新の番組表を表示します。 本機では現在受信している番組とそれ以降の番組情報を表示することが可能です。

■地上デジタル放送の受信地域について

地上デジタル放送の受信地域と開局予定については、 下記の URL でご確認ください。

社団法人地上デジタル放送推進協会　URL: http://www.dpa.or.jp/

制限事項

- ●本機のチューナーは日本国内のワンセグ放送専用です。 ワンセグ以外の放送 (BS、 110 度 CS デジタル放送、 地上アナログ放送、 衛星デジタル放送など) を視聴することはできません。
- ●本機はワンセグ放送が開始されている地域で、 電波の届く範囲で視聴できます。
- ●ワンセグ放送は移動端末向けの低解像度映像のため、 大きな画面では画像が粗くなります。
- ●本機はデータ放送、 番組録画、 視聴予約には対応しておりません。
- ●受信できる放送局の電子番組表 (EPG) を同時に表示することはできません。
- ●ワンセグ放送は視聴対応地域のみ視聴できます。
- ●視聴可能地域においても環境等により受信状態が悪くなったり、 受信できない場合があります。

ご確認事項

- ●地上デジタル放送h、 地上アナログ放送に比べて、 数秒程度音声や映像が遅れます。
- ●時報なども同様に遅れますのでくれぐれもご注意ください。

初回起動時の設定と操作

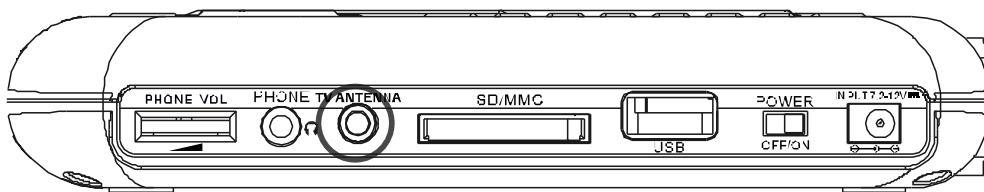
●出荷時の状態ではチューナーは設定されていません。

●放送局のスキャンや各種設定を行ってください。

■受信準備

１ 付属のアンテナを本体のアンテナ接続端子【TV ANTENNA】につなぎます。

２ 電源スイッチを【ON】にします。

---

1 本機を TV モードに切り替える

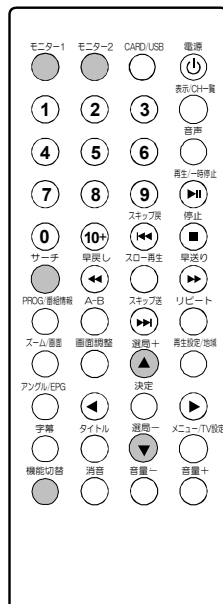
●本体またはリモコンの【モニター 1】または【モニター 2】ボタンを押し、 画面を TV 表示モードにします。

●リモコンの【機能切替】または本体の【TV/DVD MODE】ボタンを押し、 リモコンモードを「TV」に切り替えます。(P12 参照)

2 放送局をスキャンする

●リモコンの【サーチ】ボタンを押すと、 受信可能な放送を自動的に受信してチャンネルリストに登録します。

3 放送局を選局する

●リモコンのカーソルボタン【▲】または【▼】を押すとチャンネルリストに登録された放送局を順番に移動します。

TV リモコン操作

【機能切替】ボタンを押してリモコンモードを「TV」に切り替えることでいくつかの TV 視聴時のいくつかの操作をリモコンで行うことが可能です。
TV 設定メニュー (P23-P26) でも同様の操作を行うことが可能です。

ご注意

リモコンモードが「DVD」の場合操作できませんのでご注意ください。(P12 参照)

■スキャン (P24)
【サーチ】ボタンを押すと、 受信可能な放送局をスキャンします。

■チャンネル表示 (P24)
【表示 /CH 一覧】ボタンを押すと、 登録済の放送局を一覧表示します。

■番組表 /EPG (P24)
【アングル /EPG】ボタンを押すと、 放送中の番組表情報 (EPG) を表示します。

■地域設定 (P25)
【機能設定 / 地域】ボタンを押すと、受信地域の設定画面を表示します。

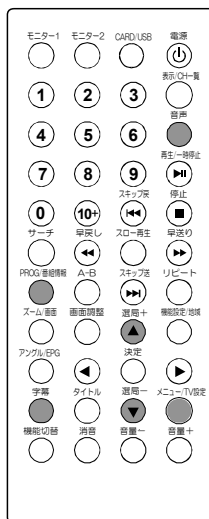
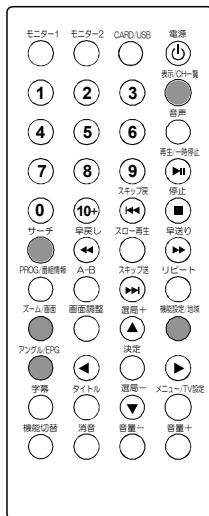
■画面サイズ切替 (P26)
【ズーム / 画面】ボタンを押すと、 画面サイズ (ワイド) を切り替えます。

■字幕切替 (P26)
【字幕】ボタンを押すと、 字幕の付いた放送の字幕表示を切り替えます。

■音声切替 (P26)
【音声】ボタンを押すと、 受信中の番組の音声出力を切り替えます。

■番組情報表示
【PROG/ 番組情報】ボタンを押すと、 受信中の番組情報を表示します。

■選局 (P21)
【▲】または【▼】ボタンを押すと、 受信可能な放送を選局します。

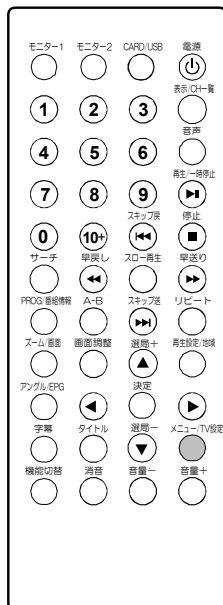
■ TV 設定 (P23)
【メニュー /TV 設定】ボタンを押すと、「TV 設定画面」が表示されます。

TV 設定［ワンセグ TV 設定］

■ワンセグ TV 設定

テレビ視聴中に【メニュー /TV 設定】ボタンを押すとディスプレイに「ワンセグ TV 設定画面」が表示されます。

ご注意

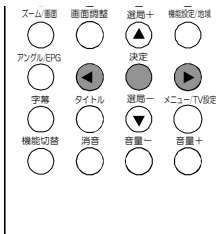
【機能切替】ボタンを押し、リモコンモードを「TV」に切り替えて操作してください。(P12 参照)

設定項目		設定内容	掲載
スキャン (SCAN)		受信可能な放送局をスキャンします	P24
チャンネル		登録済の放送局を一覧表示します	
番組表		放送中の番組表情報 (EPG) を表示します	
エリア		受信地域の設定画面を表示します	P25
設定	ワイド	画面サイズを切り替えます	P26
	字幕	字幕の付いた放送の字幕表示を設定します	
	音声	受信中の番組の音声出力を切り替えます	
	言語	操作用の画面表示言語を選択します	

■設定の方法

設定画面が表示されたら、カーソルボタン【◀ または ▶】を押して項目を選択します。

【決定】(OK) ボタンを押すと選択した項目を表示します。

ご注意

【機能切替】ボタンを押し、リモコンモードを「TV」に切り替えて操作してください。(P12 参照)

TV 設定［スキャン / チャンネル / 番組表］

■スキャン

受信可能な放送局を検索してチャンネルリストに追加します。

1 ワンセグ TV 受信モード状態で【メニュー /TV 設定】ボタンを押す。

⇒ ワンセグ TV 設定画面が表示されます。 初期状態では「スキャン」が選択されています。

2 カーソルボタン【◀ ▶】で「スキャン」を選択する。

3【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ チャンネルスキャンを開始します。

⇒ 自動的にスキャンを終了し、 チャンネル検索を完了します。

■チャンネル

チャンネルリストを表示します。

リストの中から放送局を選択する場合に使用します。

1 ワンセグ TV 受信モード状態で【メニュー /TV 設定】ボタンを押す。

⇒ ワンセグ TV 設定画面が表示されます。

2 カーソルボタン【◀ ▶】で「チャンネル」を選択する。

3【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ チャンネルリストを表示します。

4 カーソルボタン【▲▼】でチャンネルリストから放送局を選択する。

5【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ 選択した放送局が自動的に表示されます。

■番組表

番組表情報 (EPG) を画面上に表示します。

現在視聴している放送局の番組表情報を、 2 ～ 8 番組先まで取得して表示します。

※表示される番組表は、 放送内容によって異なります。

1 ワンセグ TV 受信モード状態で【メニュー /TV 設定】ボタンを押す。

⇒ ワンセグ TV 設定画面が表示されます。

2 カーソルボタン【◀ ▶】で「番組表」を選択する。

3【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ EPG(番組表情報) を表示します。

4 カーソルボタン【▲▼】で番組表から任意の番組を選択する。

5【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ 選択した番組情報が画面上に表示されます。

⇒ 画面をスクロールするにはカーソルボタン【◀ ▶】を押します。

TV 設定［エリア］

■エリア

受信地域を設定します。 地域を設定することで正確なチャンネルリストを作ることが可能です。

1 ワンセグ TV 受信モード状態で【メニュー /TV 設定】ボタンを押す。

⇒ ワンセグ TV 設定画面が表示されます。

2 カーソルボタン【◀ ▶】で「エリア」を選択する。

3【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒「地域設定画面」を表示します。

4 カーソルボタン【▲▼】で地域設定画面から、 お住まいの地域 (広域) を選択する。

5【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ 地域設定画面 (都道府県) に移動します

6 カーソルボタン【▲▼】で地域設定画面から、 お住まいの都道府県を選択する。

7【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ チャンネルスキャンを開始します。

⇒ 自動的にスキャンを終了し、 チャンネル検索を完了します。

全域チャンネル	
北海道	札幌
	函館
	旭川
	帯広
	釧路
	北見
	室蘭
東北	青森
	岩手
	宮城
	秋田
	山形
	福島
関東	東京
	神奈川
	茨城
	栃木
	群馬
	埼玉
	千葉
	山梨

信越・北陸	新潟
	長野
	富山
	福井
	石川
東海	愛知
	岐阜
	三重
	静岡
近畿	大阪
	京都
	兵庫
	奈良
	和歌山
	滋賀
中国	広島
	山口
	鳥取
	島根
	岡山

四国	愛媛
	徳島
	香川
	高知
九州・沖縄	福岡
	佐賀
	長崎
	熊本
	大分
	宮崎
	鹿児島
	沖縄

設定地域について

設定地域は表の通りに分類されています。 地域の境などにお住まいの方は「全域チャンネル」を設定すると、正しく受信できる場合があります。

TV 設定［ワイド / 字幕 / 音声 / 言語］

■設定（セッティング）

・設定項目を選択して【決定】(OK) ボタンを押すとサブメニューを表示します。

・サブメニューは「ワイド」「字幕」「音声」「言語」の 4 項目です。

・カーソルボタン【◀ ▶】を押して項目を選択し、【▲▼】ボタンで内容を決定します。

■ワイド

・受信される縦横比率 (アスペクト比) により、 画面の一部に黒い部分が映ります。

・放送の表示比率には「16:9」と「4:3」があります。

【フル】全画面で表示します。「4:3」の場合は左右に黒い部分が映ります。

【ワイド】画面をワイドで表示します。

■字幕

・ワンセグ放送には字幕データのある番組があります。

・字幕番組を受信したときに画面に字幕を表示するように設定できます。

・番組に字幕情報がない場合は機能しません。

【字幕あり】画面に字幕を表示します。

【字幕なし】字幕機能を使用しません。

■音声

・二重放送 (2 カ国語放送など) の音声を切り替えます。

・副音声がない場合は主音声のみの出力になります。

・番組によっては切り替えできません。 音声は放送されている番組によって異なります。

【音声 主】主音声のみ (L)

【音声 副】副音声のみ (R)

【音声 主＋副】主音声 (L) と副音声 (R) が同時に聞こえます。

■言語

・画面に表示する言語 (操作用) を選択します。

【日本語】画面表示言語を日本語で表示します。

【英語】画面表示言語を英語で表示します。

ディスクについて

■リージョン番号について

リージョン番号とは発売地域別にDVDビデオソフトと再生機器に割り当てられた番号です。
本機は「2」(および「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたDVDビデオの再生が可能です。

■再生できるディスク

DVD	DVDビデオ、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW
CD	ビデオCD、CD(CD-DA)、CD-R、CD-RW、HDCD、SVCD

■データディスク

・MP3ファイル、WMAファイル、MPEGファイル、JPEGファイルを記録したディスク(CD-R/RWなど)の再生に対応しています。

ご注意

・MP3はISO9660に準拠したディスクでないと再生できません。
・MP3及びピクチャーCDのフォルダ名やファイル名の日本語表示はできません。またファイル名入力の方法によっては文字化けする場合があります。
・記録方式や記録状態によって再生できないことがあります。

■ DVDレコーダーでの記録について

・DVDレコーダやPCで作成したディスクは、録画したレコーダーで必ずファイナライズ処理を行ってください。処理を行わないと本機で正しく再生できません。
・DVDレコーダ等で作成したディスクは録画モードやディスク特性、レコーダーの構造などの諸条件などが重なり、再生に時間がかかる場合がありますが故障ではありません。

■ご注意

・DVDアイコンが添付されているディスクでも、DVD-Audio、DVD-RAM、DVD-ROM、CD-ROM、その他本機がサポートしていない形式のディスクは再生できません。
・DVD±R/RWやCD-R/RWディスクでも記録方式や状態により再生できないことがあります。
・CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCD等は、動作等の保障ができません。
・本機はすべてのディスクに対して再生互換の保障がされているわけではありません。

基本的な操作 [ディスク再生]

■最初に確認してください

リモコンの【モニター】ボタンを押し、 画面を DVD 表示状態にする。(P 19)

リモコンの【機能切替】ボタンを押し、 リモコンモードを「DVD」に設定する。(P21)

ご注意

リモコンモードが「TV」に設定されているとリモコン操作できません。

■ディスクのセット

1 本体の【OPEN】ボタンを押してふたを開く。

2 ディスクを載せてふたを閉める。

CD や VCD は自動的に再生を開始します。

DVD の場合はメニュー画面が表示される場合があります。

■メニュー画面が表示された場合

1 カーソルボタン【▲▼◀▶】を押して項目を選択する。

2【決定】(OK) ボタンを押してメニュー内容を決定する。

■再生

再生ボタン【 ▶II 】を押すと再生を開始します。

■停止

1 再生中に停止ボタン【■】(STOP) を押す。

停止ボタンを押すとリジューム再生状態になります。

2 再生を完全に停止するには再度、 停止ボタン【■】(STOP) を押す。

■リジューム再生機能

● 再生を停止すると本機は停止した箇所を記録します。

● 再生ボタン【 ▶II 】を押すと、 先に停止した箇所から再生を開始します。

■一時停止

1 再生中に再生 / 一時停止ボタン【 ▶II 】を押す。

⇒ 再生を一時停止します。

2 機能を解除するには再度、 再生 / 一時停止ボタン【 ▶II 】を押す。

便利な再生機能

■スキップ再生

1 再生中にリモコンのスキップボタン【|◀◀】または【▶▶|】を押す。
押した回数だけ押した方向にスキップ(「戻し」または「送り」)を行います。
本体の【PREV】または【NEXT】ボタンも同様の動作です。

■サーチ再生(早送り/早戻し)

1 再生中にリモコンの【◀◀】または【▶▶】ボタンを押す。
⇒ ボタンを押すたびに再生速度が 2 倍、 4 倍、 8 倍、 20 倍に変化します。
2 再生を通常の速度に戻すには再生ボタン【 ▶II 】を押す。

■スロー再生

1 再生中にリモコンの【スロー再生】ボタンを押す。
⇒ ボタンを押すたびに再生速度が順番に変化します。
「1/2」→「1/3」→「1/4」→「1/5」→「1/6」→「1/7」→機能切
2 再生を通常の速度に戻すには再生ボタン【 ▶II 】を押す。

ご注意

スロー再生は DVD ディスクのみに機能します。

■リピート再生

1 再生中にリモコンの【リピート】ボタンを押す。
⇒ ボタンを押すたびにリピート方法がディスプレイに現れます。

CD/VCD	TRACK(1 ファイル)	ALL(全曲)	OFF(切)	
DVD	CHAPTER(チャプタ)	TITLE(タイトル)	ALL(全て)	OFF(切)

2【リピート】ボタンを押して、 リピート方法を選択する。
⇒ 機能を解除するには【リピート】を押して表示を消します。

■特定区間(A-B)リピート再生

この機能は任意に指定した特定区間を連続再生する機能です。
1 区間リピート再生の開始位置(A 地点)でリモコンの区間リピートボタン【A-B】を押す。
⇒ 画面に【A】表示が現れます。
2 リピート再生の終了位置(B 地点)でリモコンの区間リピートボタン【A-B】を押す。
⇒ 画面に【AB】表示が現れ、 区間リピート再生を開始します。
3 機能を解除するには再度、「リピート AB」ボタンを押す。
⇒ 画面に【AB キャンセル】表示が現れ、 区間リピート再生を解除します。

便利な再生機能

■プログラム再生

DVD に収録されたチャプターや CD や VCD のトラックを 16 プログラムまで再生することができます。

1 リモコンの【PROG/ 番組情報】ボタンを押す。

⇒ TV 画面にプログラムメニューが表示されます。

2 数字ボタン【0 ～ 9】を押してプログラム番号を入力する。

3 プログラムを終了したらカーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して TV 画面下の「**再生**」を選択する。

4 再生 / 一時停止ボタン【 ▶II 】を押す。

⇒ 本機が自動的にプログラム再生を開始します。

DVD のプログラム画面

プログラム

TC	TC	TC	TC
1. --:--	5. --:--	9. --:--	13. --:--
2. --:--	6. --:--	10. --:--	14. --:--
3. --:--	7. --:--	11. --:--	15. --:--
4. --:--	8. --:--	12. --:--	16. --:--

再生　　クリア

CD/VCD のプログラム画面

プログラム

1. [--]	5. [--]	9. [--]	13. [--]
2. [--]	6. [--]	10. [--]	14. [--]
3. [--]	7. [--]	11. [--]	15. [--]
4. [--]	8. [--]	12. [--]	16. [--]

再生　　クリア

■プログラム再生の解除

1【PROG/ 番組情報】ボタンを押す。

⇒ プログラムメニューを表示させせます。

2 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を使い、「**クリア**」を選択する。

3【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ プログラムをクリアします。

■数字の設定方法について (例)

「15」を入力する場合は、
「10+」と「5」を押す。
「36」を入力する場合は、
「10+」を 3 回押し「6」を押す。

■ズーム機能

DVD 再生中に【ズーム / 画面】ボタンを押すことで、 画面サイズを変更することができます。

【ズーム / 画面】ボタンを押すたびに倍率が変化します。

カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押すことでズーム箇所の移動が可能です。

■アングル機能

複数のアングルが記録されたディスクでは再生中に【アングル /EPG】ボタンを押すことで記録されたアングルを切り替えることが可能です。

【アングル /EPG】ボタンを押すたびにディスクに記録されたアングル表示番号が切り替わります。

ご注意

この機能は複数のアングルが記録された DVD ディスクのみに機能します。

便利な表示機能

■ DVD メニュー表示

再生中に【タイトル】ボタンを押すと、 ディスクに収録されているタイトルメニュー画面を表示することができます。【メニュー /TV 設定】ボタンを押すと、 ディスクのルートメニューを表示することができます。

１【タイトル】ボタンまたは【メニュー /TV 設定】ボタンを押す。

⇒ メニュー画面が表示されます。

２ カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して項目を選択する。

３【決定】(OK) ボタンを押して選択した項目に移動する。

ご注意

この操作は複数のタイトルメニューおよびサブメニューが収録されているディスクのみに機能します。

メニューが記録されていないディスクでは操作できません。

ディスクによっては数字ボタン【0 ～ 9】を使用する場合など、 操作が異なる場合があります。

【メニュー /TV 設定】ボタンでタイトルメニューが表示されるディスクもあります。

■音声言語の変更 (DVD のみ)

再生中に音声切替ボタン【音声】を押すと、 初期設定で選択した言語を他の言語に変えることができます。 吹き替え音声の収録された DVD などを楽しむときに使用します。

ご注意

この操作は複数の音声言語が記録されているディスクのみに機能します。

■字幕言語の変更

再生中にリモコンの字幕切替ボタン【字幕】を押すと、 初期設定で選択した字幕言語を他の言語に切り替えることが可能です。

ご注意

この操作は複数の字幕言語が記録されているディスクのみに機能します。

■音声チャンネルの切り替え (CD/VCD のみ)

CD や VCD 再生中に音声切替ボタン【音声】を押すと、 音声チャンネル (LEFT MONO/RIGHT MONO/MIX-MONO/STEREO) を切り替えることが可能です。

■ PBC 機能 (VCD のみ)

本機は PBC(プレイバックコントロール) 機能つきビデオ CD(バージョン 2.0) に対応しています。

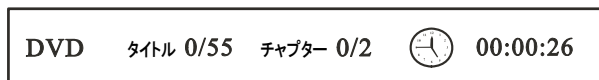
PBC 対応ディスクではメニュー画面がディスプレイ上に表示されますので操作しやすくなります。

PBC 機能の ON/OFF は【メニュー /TV 設定】ボタンを押して切り換えます。

情報表示と検索機能

■残量時間表示

再生中にリモコンの【表示 /CH 一覧】ボタンを押すと、トラックやチャプター再生時の経過時間や時間残量を表示します。
ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

DVD　タイトル 0/55　チャプター 0/2　00:00:26

▲再生中タイトル番号 / 再生中チャプター番号 / 時間

1/1　5.1 CH　OFF　OFF

▲音声言語 /ドルビー / 字幕言語 / アングル

時間表示について

時間表示 は【表示】ボタンを押すたびにタイトルやチャプターの経過時間･残り時間に切り替わります。

■サーチ機能 [DVD]

指定したチャプターからの再生を開始します。

1 DVD ディスク再生中に【サーチ】ボタンを押す。
ディスク情報が画面上部に表示されます。

DVD　タイトル 0/55　チャプター 0/2　00:00:26

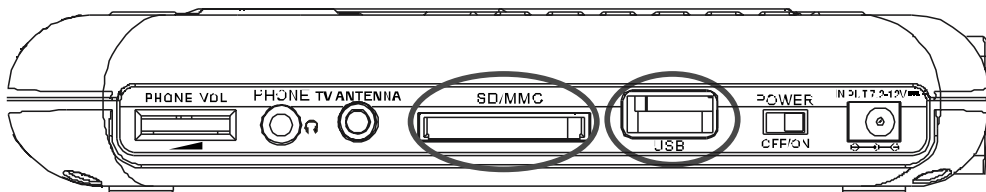
2 数字ボタン【0-9】を押し、 タイトル番号を入力する。
⇒ 初期状態では「0(ゼロ)」になっています。
⇒ 必ずタイトル番号を入力してください。
3 カーソルボタン【◀▶】を押し、 チャプター項目に移動する。
4 数字ボタン【0-9】ボタンを押し、 チャプター番号を入力する。
5【決定】(OK) ボタンを押す。
⇒ 指定したチャプターの再生を開始します。

■サーチ機能 [CD/VCD]

指定したトラック番号および時間からの再生を行います。

1 DVD ディスク再生中に【サーチ】ボタンを押す。
⇒ ディスク情報が画面上部に表示されます。
2 カーソルボタン【◀▶】を押し、トラック番号または時間項目に移動する。
3 数字ボタン【0-9】を押し、 数値を入力する。
4【決定】(OK) ボタンを押す。
⇒ 指定したトラック番号または時間から再生を開始します。

USB 機器 /SD カードの接続

●本機は USB 機器や SD カード、ディスクに記録した MP3 ファイルや WMA ファイル、JPEG ファイル、 MPEGファイルを再生することができます。

■メディア (USB/SD) の接続

1 トレイからディスクを取り除く。

2 本機の USB 端子または SD カードスロットに、 それぞれ USB メモリまたは SD カードを接続する。

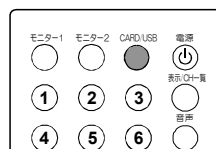
3 リモコンの【CARD/USB】ボタンを押す。

⇒ メディアの選択画面が表示 (右図) されます。

4 カーソルボタン【▲ / ▼】を押し、 メディアを選択します。

⇒ 選択されたメディアがハイライト表示されます。

5【決定】(ENTER) ボタンを押す。

⇒ 選択したメディアの「ナビ画面」を表示します。

▲ CARD(SD カード) を選択した場合

ご注意

・トレイにディスクが入っていると本機はディスクの再生を優先します。
・USB 機器を再生する場合はトレイからディスクを取り除いてください。
・USB 機器は再生後に必ず取り外してください。 接続状態にしておくと誤作動の原因になります。

SD カードに関するご注意

●本機で再生できるカードは 2G までです。
● miniSD カード、 microSD カードを使用する場合は、 変換アダプタ (市販品) が必要です。
● SDHC カードはご利用できません。
●容量の大きい USB メモリを接続した場合は読み込みに時間を要する場合があります。

USB 機器に関するご注意

●本機とパソコンを USB ケーブルで接続してファイルを再生することはできません。
●容量の大きい USB メモリを接続した場合は読み込みに時間を要する場合があります。
●本機ではすべての USB 機器の再生に対応しているわけではありません。
●本機が対応している USB メモリは携帯フラッシュメモリやデジタルオーディオ再生機などの USB マスストレージクラスに属する機器です。

MP3/WMA ファイルの再生

■再生の準備 (P33)

1 ファイルが記録されたメディア (ディスク、 USB 機器、 SD カード) を挿入する。

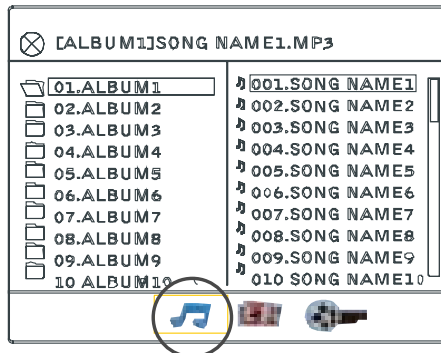
2 リモコンの【CARD/ USB】ボタンを押し、 音源 (CARD または USB) を選択する。

⇒ ナビ画面が表示されます。

⇒ ディスクの場合は挿入と同時に自動的に表示されます。

ご注意

リモコンモードは「DVD」に設定してください。「TV モード」では作動しません。(P12 参照)

▶ 画面左側にフォルダー一覧が表示されます

◀ 画面右側に選択したフォルダ内のファイル一覧が表示されます

■ファイルの表示と再生

1 ナビ画面を表示させる。(上記「再生の準備」参照)

2 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】で画面下の「音符アイコン」を 選択し、【決定】ボタンを押す。

⇒ 初期状態では選択されています。

⇒ ナビ画面が音楽モードに切り替わります。

3 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して左側項目の再生したいフォルダを選択 & 決定する。

⇒ 画面右側に選択したフォルダ内のファイルを表示します。

4 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して右側項目の再生したいファイルを選択する。

5 【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ 選択したファイルをから自動的に再生を開始します。

■ファイルのリピート再生

【リピート】ボタンを押すことでファイルを連続再生することが可能です。

種類	内容
REP1	1ファイルのみ再生
REP DIR	フォルダ内のファイルをリピート再生
REP ALL	全ファイルをリピート再生
REP OFF(機能切)	機能を使用しません

MPEG4 ファイルの再生

■再生の準備 (P33)

1 ファイルが記録されたメディア (ディスク、 USB 機器、 SD カード) を挿入する。

2 リモコンの【CARD/ USB】ボタンを押し、 音源 (CARD または USB) を選択する。

⇒ ナビ画面が表示されます。

⇒ ディスクの場合は挿入と同時に自動的に表示されます。

ご注意

リモコンモードは「DVD」に設定してください。「TV モード」では作動しません。 (P12 参照)

▶ 画面左側にフォルダー覧が表示されます

◀ 画面右側に選択したフォルダ内のファイル一覧が表示されます

■ファイルの表示と再生

1 ナビ画面を表示させる。(上記「再生の準備」参照)

2 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】で画面下の「フィルムアイコン」を 選択し、【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ ナビ画面が動画モードに切り替わります。

3 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して左側項目の再生したいフォルダを選択 & 決定する。

⇒ 画面右側に選択したフォルダ内のファイルを表示します。

4 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して右側項目の再生したいファイルを選択する。

5【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ 選択したファイルをから自動的に再生を開始します。

動画ファイル再生に関するご注意

●本機で再生できるフォーマットは MPEG4、 Divx3.11/4.x/5.x/6.x です。

●記録方式によっては本機で再生できない場合があります。

JPEG ファイルの再生

■再生の準備 (P 33)

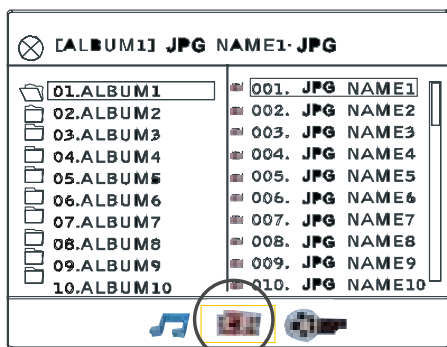
1 画像 (JPEG) ファイルが記録されたメディア (ディスク、 USB 機器、 SD カード) を挿入する。

2 リモコンの【CARD/ USB】ボタンを押し、 音源 (CARD または USB) を選択する。

⇒ ナビ画面が表示されます。

⇒ ディスクの場合は挿入と同時に自動的に表示されます。

ご注意

リモコンモードは「DVD」に設定してください。「TV モード」では作動しません。(P12 参照)

■画像ファイル再生で使える機能

上下反転	カーソル【▲】ボタン
左右反転	カーソル【▼】ボタン
左 90 度回転	カーソル【◀】ボタン
右 90 度回転	カーソル【▶】ボタン
ズーム	【ズーム】ボタン
スキップ	【⏮】【⏭】ボタン
一覧に戻る	停止【■】ボタン

■画像ファイル (JPEG) の表示

1 ナビ画面を表示させる。(上記「再生の準備」参照)

2 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】で画面下の「写真アイコン」を 選択し、【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ ナビ画面が写真モードに切り替わります。

3 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押して再生したいファイルを選択する。

⇒ 画面左側に縮小版を表示します。

4【決定】(OK) ボタンを押す。

⇒ 選択した画像ファイルを表示します。

ご注意

JPEG 以外の静止画 (TIFF など) や音声付画像 (Motion JPEG) は再生できません。

■画像ファイル (JPEG) の再生

画像表示中に再生ボタン【 ▶II 】を押すと、 選択した画像から自動的にスライドショーを開始します。

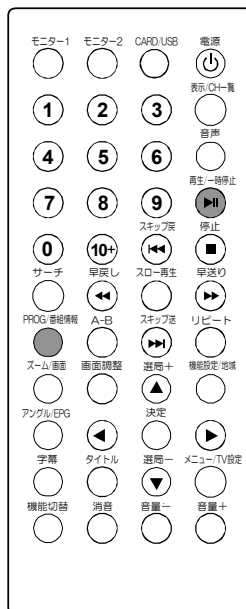
再生終了後はナビ画面に戻ります。

JPEG ファイルの再生

■スライドショー機能

画像表示中に再生ボタン【 ▶II 】を押すと自動的にスライドショーを開始します。

リモコンの【PROG/ 番組情報】ボタンを押すことでスライドショーモードを選ぶことができます。

① WIPE TOP(上から下)
② WIPE BOTTOM(下から上)
③ WIPE LEFT(左から右)
④ WIPE RIGHT(右から左)
⑤ DIAGONAL WIPE LEFT TOP(左上から右下)
⑥ DIAGONAL WIPE RIGHT TOP(右上から左下)
⑦ DIAGONAL WIPE LEFT BOTTOM(左下から右上)
⑧ DIAGONAL WIPE RIGHT BOTTOM(右下から左上)
⑨ EXTEND FROM CENTER H(中央から上下)
⑩ EXTEND FROM CENTER V(中央から左右)
⑪ COMPRESS TO CENTER H((上下から中央)
⑫ COMPRESS TO CENTER V(左右から中央)
⑬ WINDOW H(上から下へ同時)
⑭ WINDOW V(左から右へ同時)
⑮ WIPE FROM EDGE TO CENTER(上下左右から中央)
⑯ RANDOM(ランダム)
⑰ NONE(機能切)

■ファイルのリピート再生

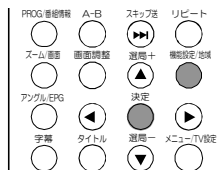
【リピート】ボタンを押すことでファイルを連続再生することが可能です。

種類	内容
REP1	1ファイルのみ再生
REP DIR	フォルダ内のファイルをリピート再生
REP ALL	全ファイルをリピート再生
REP OFF(機能切)	機能を使用しません

機能設定について

「機能設定」には本機をより活用していただくための各種設定項目があります。
ご使用環境に応じて正しく設定してください。
各設定項目についてはそれぞれのページをご覧ください。
【機能設定 / 地域】ボタンを押すとディスプレイに初期設定画面が表示されます。

■機能設定の方法

1 【機能設定 / 地域】ボタンを押す。
⇒ システム設定画面が表示されます。
2 カーソルボタン【▲▼ ◀▶】を押す。
⇒ ハイライト表示が各項目を移動します。
3 項目の決定には【決定】ボタンを押す。
4 設定を終了するには【機能設定 / 地域】ボタンを押す。

■機能設定項目は下記のように分かれてます。

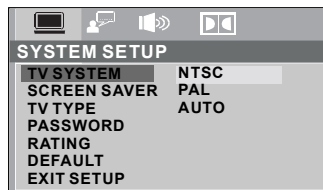
	設定項目	内容	掲載
システム設定	テレビシステム	NTSC と PAL を切替	P39
	スクリーンセーバー	画面を損傷から守ります	
	テレビタイプ	画面サイズを設定	
	暗証番号	視聴制限時の暗証番号を設定	
	レーティング	視聴制限を設定	P40
	初期化	購入時の設定に戻します	
言語設定	画面表示言語	本機の画面表示言語を切替	P41
	音声言語	DVD の吹き替え音声を切替	
	字幕言語	DVD の字幕言語を切替	
	メニュー言語	DVD のメニュー言語を切替	
スピーカ設定	ダウンミックス	サラウンドチャンネルの再生方式を切替	P42
デジタル設定	ダイナミックレンジ	最大音量と最小音量の差を圧縮	
	ステレオモード	ドルビーデジタルのデュアルモノ音声	

機能設定［システム］

■テレビシステム [TV SYSTEM]

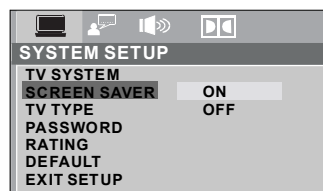
【PAL】PAL 方式のテレビジョンと接続する場合に選択します。

【NTSC】日本のテレビジョン方式は NTSC です。

【オート】自動切換

■スクリーンセーバー [SCREEN SAVER]

スクリーンを損傷から防ぐために、画面が一定時間動かないときに表示されます。

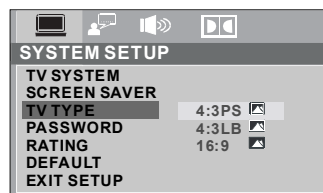
【オン】スクリーンセーバーを表示します

【オフ】機能をオフにします。

■テレビタイプ [TV TYPE]

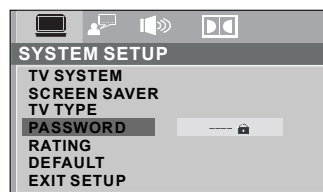
画面サイズを設定します。

【4:3PS】パンスキャン。対応ディスクのみ。ワイド画像は左右がカットされて映ります。

【4:3LB】レターボックス。4:3 サイズのテレビにワイド画像を全画面表示します。

【16:9 ワイド】ワイドテレビサイズ。

■暗証番号 [PASSWORD]

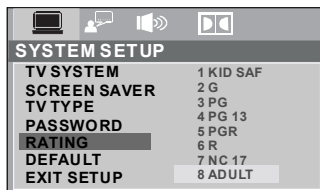
レーティング (視聴制限) のレベルを変更できないようにするには任意の 4 ケタの暗証番号を入力してロックします。

【0000】を入力すると機能を解除します。

機能設定 [システム]

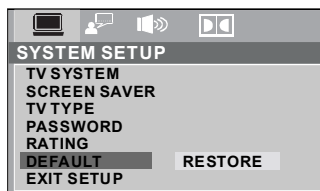
■レーティング [RATING]

お子様に見せたくない場面が含まれたディスクの再生を制限することが可能です。
視聴制限を切り換える場合は 4 桁のパスワードの入力が求められます。

- 設定を変更する場合にはパスワードを入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは【0000】に設定されています。

SYSTEM SETUP
TV SYSTEM
SCREEN SAVER
TV TYPE
PASSWORD
RATING
DEFAULT
EXIT SETUP
1 KID SAF
2 G
3 PG
4 PG 13
5 PGR
6 R
7 NC 17
8 ADULT

【レベル 1】KID SAF[Kid Safe] 子ども向けソフトのみ再生可能。
【レベル 2】G[General Audience] 一般むけ。
【レベル 3】PG[Parental Guidance] 児童の鑑賞は保護者の判断が必要。
【レベル 4】PG13[Parental Guidance Under Age 13] 13 歳未満の鑑賞は保護者の指導が必要。
【レベル 5】PGR[Parental Guidance Restricted] 17 歳未満の鑑賞は両親の指導が必要。
【レベル 6】R[Restricted] 17 歳以下の青少年は親か成人の保護者同伴が必要。
【レベル 7】NC17[No Children Under Age 17] 17 歳以下は鑑賞禁止。
【レベル 8】ADULT すべてのソフトの再生が可能です。

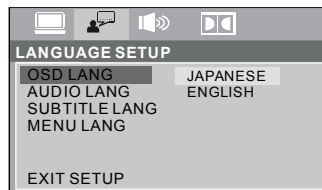
■初期化 [DEFAULT]

【復元】(RESTORE) を選択して決定すると本機の設定をリセットし、 初期化します。

機能設定［言語］

■画面表示言語 [OSD LANGUAGE]

画面に表示する言語を選択します。

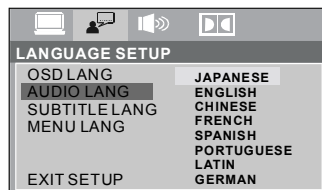
【日本語】画面表示言語を日本語で表示します。

【ENGLISH】画面表示言語を英語で表示します。

■音声言語 [AUDIO LANGUAGE]

吹き替え音声など DVD の音声を選択します。

初期設定は日本語です。

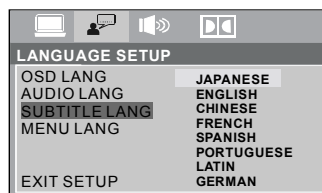
ご注意

収録されている言語に対応しています。

■字幕言語 [SUBTITLE LANGUAGE]

字幕の言語を選択します。

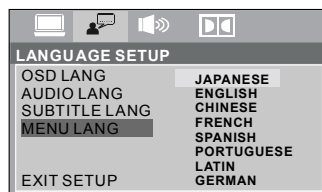
初期設定は日本語です。

ご注意

収録されている言語に対応しています。

■メニュー言語 [MENU LANGUAGE]

初期設定は日本語です。

ご注意

収録されている言語に対応しています。

機能設定 [スピーカ / デジタル音声]

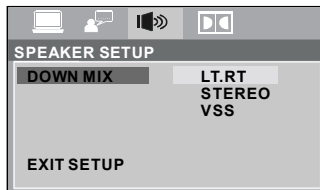
スピーカ設定

■ダウンミックス設定 [DOWNMIX]

ダウンミックスは多チャンネル信号を左と右の 2ch にミックスして出力します。

【LT/RT】サラウンドの右と左の信号はフロントにミックスされて出力されます。

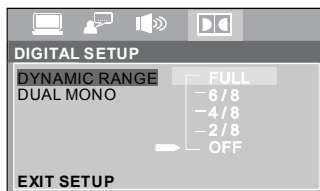
【ステレオ】サラウンドの右と左の信号はフロントの右と左それぞれに分離して出力されます。

【VSS】マルチチャンネル音声はダウンミックスされてバーチャルサラウンド音声で出力されます。

デジタル音声設定

■ダイナミックレンジ設定 [DYNAMIC RANGE]

音量を下げて映画などを楽しむ場合はダイナミックレンジの圧縮率を高めることで、小さな音でもセリフが聞き取りやすくなります。

【FULL】ダイナミックレンジを最大圧縮します。

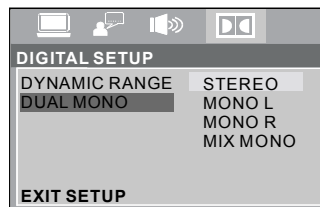
【OFF】機能を使用しません。

■デュアルモノ (ステレオモード) 設定 [DUAL MONO]

ドルビーデジタルのデュアルモノ方式で記録された DVD を再生する場合の音声出力方式を切り換えます。

【ステレオ】ステレオで再生。

【モノラル左】左チャンネルのみを再生。

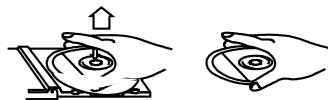
【モノラル右】右チャンネルのみを再生。

【ミックスモノラル】左右の音声を混合して再生。

取扱上のご注意

■ディスクのお手入れ

コンパクトディスクの汚れやごみ、 キズ、 そりなどが雑音の原因になることがあります。 次のことにご注意ください。

▲ディスクの端を持ちます

- ●ディスクをケースから取り出す場合は演奏面にキズを付けないようにディスクの端を持ってください。
- ●ディスクを折り曲げないようにしてください。
- ●従来のレコード盤に使用されているレコードクリーナーやスプレーおよび静電気防止剤は使用できません。
- ●コンパクトディスクに指紋等が付いて汚れたときは、 水を含ませた柔らかい布で拭いた後、 乾いた布で拭いてください。
- ●ディスクを拭くときは、 必ず内側から外側方向に拭いてください。 同心円上のキズは雑音になりやすいためです。

▲内側から外側へ向けてふく

▲円周方向のキズは NG です

■ディスクの保管

ディスクはケースに入れて正しく保管してください。

直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。

炎天下の車内に放置しないでください。 温度の高い場所で保管しないでください。

浴室は加湿器のそばなど、 湿気やホコリの多い場所では保管しないでください。

筐体のお手入れについて

やわらかい布でふいてください。 汚れがひどいときは、 石鹸水を少し布につけてふき、 あとはからぶきしてください。

ご注意

ベンジンや殺虫剤をかけると変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

免責事項

お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、 またその他の不具合等を含め、 本製品の使用によって受けられた損害については、 法令上賠償責任が認められる場合を除き、 当社は一切その責任を負いませんので、 あらかじめご了承ください。

本機は一般家庭用機器として製造された商品です。 一般家庭用以外 (飲食店等での長時間再生、 車両や船舶への搭載使用) でご使用し故障が発生した場合は保証期間内でも有償修理を承ります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、お問合わせの前にまずこのページで点検してみてください。
それでも動作しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電源	確認事項と対策	掲載
電源が ON にならない	プラグがコンセントからはずれていませんか？	P17
	主電源が OFF になっていませんか？	P18
	モニタの電源が OFF になっていませんか？	P10_18
本体が熱くなる	故障ではありません。	……

リモコン	確認事項と対策	掲載
リモコン操作できない	DVD モードと TV モードを正しく切り替えてください	P12
	本体のセンサーに正しく向けて操作してください	P13
	電池が切れている場合は交換してください	P13

DVD 操作	確認事項と対策	掲載
音声言語や字幕言語が切り替わらない	ディスクに複数の音声言語や字幕言語が収録されていない場合は、これらの機能は作動しません。	P31
DVD ± R/RW ディスクが再生できない	DVD レコーダーなどで記録する場合は録画したディスクをファイナライズ処理してください。	P27
DVD ビデオを再生できない	視聴制限がかかっている場合は【レベル 8】にしてください	P40

映像	確認事項と対策	掲載
映像が映らない	モニタの電源が OFF になっている場合は ON にしてください	P10_18
画面サイズがおかしい	「テレビタイプ」を確認してください。	P39
	ズーム再生している場合は機能を解除してください。	P30
映像が途中で止まる	片面 2 層ディスクは層の変わり目で、映像や音声が一瞬停止することがあります。	……
ブロック状ノイズが出る	本機からの映像をビデオデッキ経由で再生するとコピーガードの働きにより画像が乱れる場合があります。	……
	本機の演算処理能力を超えるときにブロックノイズが発生する場合があります。ブロックノイズは DVD の映像記録方式 (MPEG) の性質上、完全に除去することは困難です	……

音声	確認事項と対策	掲載
音が出ない	音量ボタン (＋) を調整してください。	P19
音が小さい	モニタ側の音量ボタンを押して音量を上げてください	P19

困ったときは

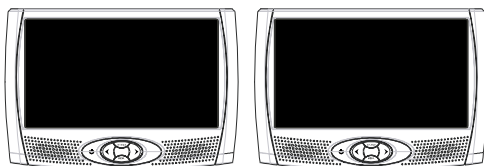
ワンセグ TV 受信	確認事項と対策	掲載
ワンセグテレビが映らない (受信できない)	ワンセグ放送の受信地域であることを確認ください	P25
	アンテナを接続して受信できる位置に設置してください。	P21
	初期状態では放送局がプリセットされていません。「初回起動時の設定」を行ってください	P21
リモコン操作できない	リモコンモードを「TV」に切り替えてください	P12

データファイルの再生	確認事項と対策	掲載
MP3/WMA ファイルが再生できない	DRM コピープロテクト (著作権保護) がかかったファイルは再生できません。	P27
	サンプリング周波数が 32kHz、 44.1kHz、 48kHz 以外で記録された MP3 ファイルは再生できません。	P27
	ISO9660 フォーマットに準拠していないディスクは再生できません。	P27
正しい順番で再生できない	本機とパソコンでは表示順序や再生順序が異なる場合があります。	P33
JPEG ファイルが再生できない	DCF 準拠以外のファイルは再生できません。	P27
	ファイルサイズが大きいと読み込みに時間がかかります。	P36
動画ファイルが再生できない	コンテナ (格納) 型式が異なる場合は再生できません	P35

USB 接続	確認事項と対策	掲載
USB 機器の再生ができない	入力ソース切替で「USB」を選択してください。	P33
	データ容量が大きいと再生に時間がかかる場合があります	P33

SD カード接続	確認事項と対策	掲載
SD カードを読み込まない	本機で再生できる SD カードは 2G までです。	P33
	SDHC カードには対応していません	P33

おもな仕様

電源部		
AC アダプタ	入力	AC100V-240V 50/60Hz、 1.0A
	出力	12V、 2.5A
シガープラグ		DC12V
消費電力(本体+モニタ)		30W
一般		
動作温度		-10℃～ 40℃
動作湿度		0 ～ 80%(結露なし)
保管温度		70℃まで対応
液晶部		
パネル		7 インチ偏光板
解像度		480 × 234 ピクセル
輝度		200cd/ ㎡
応答速度		30ms
コントラスト比 (標準)		200:1
端子部		
AV 出力 (本体)		ミニピン端子 (1)
イヤホン出力 (本体)		ステレオミニ端子 (1)
イヤホン出力 (モニタ)		ステレオミニ端子(各 2)
インターフェース(本体)		USB2.0 端子 (1)
		SD/MMC スロット(1)
音声出力		
内蔵スピーカ(RMS)		250mW+250mW
イヤホン		25mW+25mW
音声特性		
出力信号レベル		1V(RMS)
SN 比	スピーカ	62dB 以上
	イヤホン	80dB 以上
映像特性		
映像方式		NTSC/PAL
出力信号レベル		1Vp-p

再生可能メディア	
DVD	DVD-Video
	DVD-RW
	DVD-R
	＋ RW
	＋ R
CD	CD-Audio (CD-DA)
	VCD
	ピクチャー CD
	CD-R
	CD-RW
対応フォーマット	
音声	ドルビーデジタル
	PCM
	MP3
	WMA
映像	MPEG1(VCD)
	MPEG2(DVD)
	MPEG4
	Divx4.0/5.0/6.0
サイズ	
本体 (W × H × D)	200 × 28 × 154mm
本体質量 (約)	368g
モニタ (W × H × D)	186 × 129 × 21mm
モニタ質量 (約)	428g
リモコン (W × H × D)	52 × 136 × 9mm
リモコン質量 (約)	49g(電池含む)

付属品
リモコン (1) AC 電源アダプタ (1) 12V 車用電源アダプタ (1) ワンセグ TV アンテナ (1) AV ケーブル (1) イヤホン (2) 携行用ソフトケース (1) モニタ固定用ベルト (2) 説明書 / 保証書 (1)

★この取扱説明書に描かれているイラストや画面表示などは説明を分かりやすくするために省略している箇所がありますので実際とは異なります。 ★仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

保証とアフターサービス

保証書はこの取扱説明書に付属していますので、 必ず［販売店］や［ご購入日］などの記載を確かめ、 保証内容などをよくお読みください。 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

修理を依頼されるときは

まず本書にしたがってもう一度操作していただき、 直らないときに次の処置をしてください。
症状はできるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中

・保証書の規定に従い、 お買い上げの販売店か弊社が修理させていただきます。

・製品に保証書を添えてご送付ください。

保証期間が過ぎているとき

・お買い上げの販売店にご相談ください。

・修理によって使用できる製品につきましてはご希望により有料で修理させていただきます。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、 ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに気を配り、 快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです

愛情点検　長年ご使用の AV 機器の点検を！

こんな症状はございませんか？

●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
●電源コードやプラグにヒビが入っている。
●電気が入ったり切れたりする。
●異常な音や臭い、 発熱がある。
●その他の異常や故障、 不具合がある。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
必ず電器店に点検をご依頼ください。 費用等も併せてご相談ください。

製品保証書

本書はお買い上げ日から下記期間中、 故障が発生した場合には本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 This warranty valid only in Japan.

保証規定

1) 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
2) 無償修理をご依頼になる場合には、 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご相談ください。
3) 製品保証書は再発行いたしません。
4) 本書は日本国内においてのみ有効です。
5) 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
　ⅰ) 製品保証書のご提示がない場合。
　ⅱ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
　ⅲ) 製品保証書にお客さまのお名前、 お買い上げ店名印、 お買い上げ日の記載がない場合。
　ⅳ) 製品保証書の字句を書き換えられた場合。
　ⅴ) お買い上げ後の輸送、 移動時の落下などによる故障および損傷。
　ⅵ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、 塩害、 異常電圧などによる損傷および故障。
　ⅶ) 車両や船舶等に搭載された場合に生ずる損傷および故障。
　ⅷ) 業務用など一般家庭以外の用途で使用された場合に生じた損傷および故障。

機 種 名	
保証期間	お買い上げ日から **本体 1 年間**
ご購入日	
お 客 様	
販 売 店	

フジ電器出版合同会社

www.fujidensha.com